



皇后陛下によるクロマツの苗木のお手植え

お手播きの際に緑の少年団にお声をお掛けする天皇陛下



6月10日、福島県南相馬市で「第69回全国植樹祭 ふくしま 2018」が行われました。

全国植樹祭は、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。

福島県では、昭和45年5月に猪苗代町天鏡台を会場とした「第21回全国植樹祭」が「後継者の森」をテーマにして開かれており、今回の大会が48年ぶり2回目の開催となります。

式典前のプロローグでは、福島県の①中通りの「山木屋太鼓」・「霊山太鼓」、②会津地方の「会津彼岸獅子」、③浜通りの「フラダンス」といった県内各地を代表する民俗芸能や震災からの復興を象徴するアトラクションが披露されました。両陛下のご臨席後、出席者全員で東日本大震災の犠牲者を悼み、黙とうが行われ式典がはじめられました。

式典では、大会会長の大島 理森 衆議院議長(国土緑化推進機構会長)及び内堀 雅雄 福島県知事よりあいさつがありました。その後、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰が行われ、齋藤 健 農林水産大臣などへ緑の少年団から苗木の贈呈が行われました。齋藤大臣は贈呈された苗木(クロマツ)を、駐日ミャンマー大使とともに記念植樹しました。



「木製地球儀」リレー

両陛下のお手植えでは天皇陛下はクロマツ、ケヤキ、スダジイの苗木を、皇后陛下はアカマツ、ヤマザクラ、ヤブツバキの苗木をそれぞれ植樹されました。また、お手播きでは、天皇陛下は津島マツと飯豊スギの種子を皇后陛下はベニシダレとマルバシャリンバイの種子をそれぞれ播かれました。

続いて、国土緑化推進機構の佐々木毅理事長より、国民の命を守り、人々に希望を与える森林を未来に引き継ぐ決意を述べた大会宣言と、内堀 福島県知事から来年全国植樹祭が開催される愛知県の大村 秀章 知事に全国植樹祭シンボルである「木製地球儀」をリレーして幕を閉じました。

次回の第70回全国植樹祭は、来春、愛知県尾張旭市の愛知県森林公園を主会場に開催される予定です。



代表者記念植樹する齋藤農林水産大臣